



2024年3月期 第1四半期 決算説明会

2023年8月1日
BIPROGY株式会社

 **BIPROGY** | Foresight in sight

2024年3月期 第1四半期 連結経営成績

- ✓ システムサービス等が堅調となり、販管費の増加をカバーし営業利益は増益
- ✓ 受注高、受注残高ともにシステムサービス、アウトソーシングを中心に順調に拡大

(単位: 億円)

	2023年3月期 1Q(4-6月)	2024年3月期 1Q(4-6月)	前年同期比	
売上収益	705	799	+93 (+13.2%)	(売上収益) システムサービスおよびアウトソーシングを中心に売上収益が拡大。
売上総利益	182	204	+22 (+11.9%)	
販管費	△135	△146	△12 (+8.7%)	(営業利益) 販管費が増加した一方で、システムサービスおよびハードウェアの増収に伴う売上総利益の増益により、営業利益は増益。
その他の収益・費用等	0	1	+0	
営業利益	48	58	+11 (+22.0%)	
(営業利益率)	(6.8%)	(7.3%)	(+0.5pt)	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	39	44	+4 (+11.4%)	(当期利益) 金融収益が減少したものの、営業増益に伴い当期利益は増益。
調整後営業利益*	48	58	+10 (+21.1%)	
(調整後営業利益率)	(6.8%)	(7.2%)	(+0.5pt)	
受注高	696	781	+85 (+12.3%)	(受注高・受注残高) システムサービス、アウトソーシングが順調に拡大し、受注高、受注残高ともに前年同期比で増加。年度内売上予定分の受注残高も順調に積み上がる。
受注残高	2,507	2,721	+214 (+8.5%)	
(内、年度内売上予定分)	1,150	1,235	+85 (+7.4%)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販管費及び一般管理費

まずはじめに2024年3月期 第1四半期の決算概要についてご説明します。

資料の1ページをご覧ください。

売上収益は、システムサービスおよびアウトソーシングを中心に堅調に推移し、

前年同期比93億円増収の799億円となりました。

利益面では、販管費が人件費を中心に増加した一方で、

システムサービスやハードウェアの増益などにより、売上総利益が販管費の増加分を吸収し、

営業利益は前年同期比11億円増益の58億円、調整後営業利益は10億円増益の58億円となりました。

当期利益は、金融収益の減少などにより4億円増益の44億円となっております。

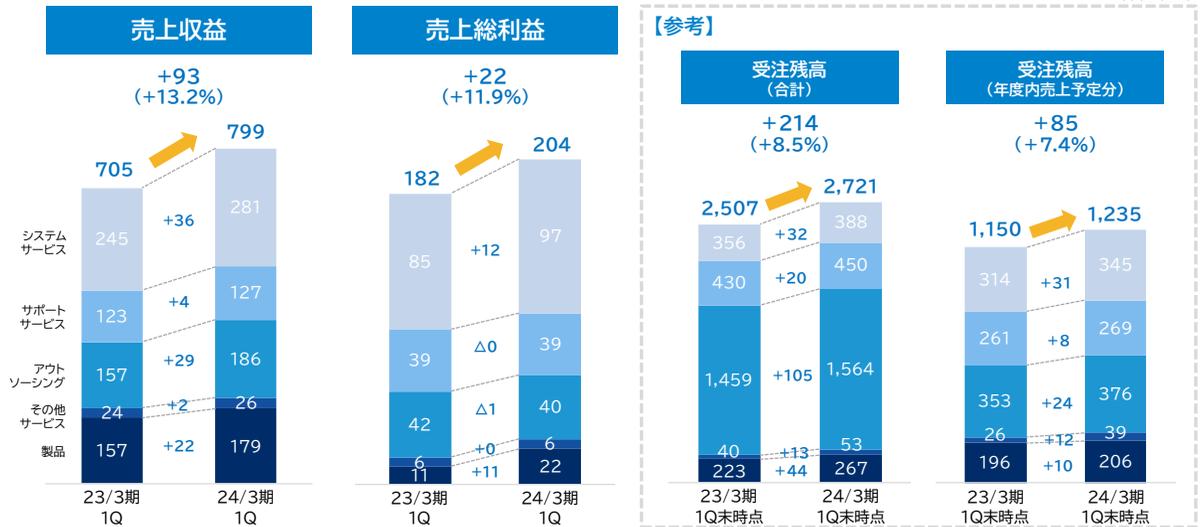
受注高は、システムサービスやアウトソーシングにおいて、デジタルトランスフォーメーション関連を中心とした

中小型案件の計上があり、増加いたしました。

受注残高も、アウトソーシングの長期案件などにより、順調に拡大しております。

2024年3月期 第1四半期 セグメント別の状況

(単位:億円)



続きまして、セグメント別の状況についてご説明いたします。
資料の2ページをご覧ください。

まず、売上収益、売上総利益については、システムサービスは、金融機関や製造業、小売業を中心とした幅広い業種において、デジタルトランスフォーメーション案件が活況となり、増収増益となりました。現在、活況であるシステムサービスを通じて獲得した知財を活用した、新しい開発アーキテクチャを推進しております。ここから将来のプラットフォームサービスを創出し、付加価値の高いアウトソーシングサービスへと繋げてまいります。

アウトソーシングは、リモートワーク関連などの他社クラウドサービスの売上拡大や、サービス型ビジネス等により増収となったものの、地域金融機関向けプラットフォームサービスに係る機能強化のためのコスト費消により、売上総利益は減益となりました。

受注残高は、引き続きシステムサービスの受注が堅調に推移したことや、製品販売案件が増加したことに加え、アウトソーシングにおいて金融機関向けなどの長期案件の計上により、前年同期末比で増加となりました。また、年度内売上予定分についてもシステムサービス、アウトソーシングを中心に着実に増加しております。

2024年3月期 第1四半期 アウトソーシングの状況

【アウトソーシング 売上収益】

	(単位:億円)		
	2023年3月期 1Q(4-6月)	2024年3月期 1Q(4-6月)	前年同期比
運用受託型	122	115	△7
企業DX型	19	52	+32
(内、他社クラウドサービス売上)	0	21	+21
サービス型(事業創出型)	16	19	+4
売上収益 合計	157	186	+29

【アウトソーシング 受注残高】

	(単位:億円)		
	2023年3月期 1Q末	2024年3月期 1Q末	前年同期末比
受注残高	1,459	1,564	+105
(内、年度内売上予定分)	353	376	+24

(企業DX型アウトソーシング)

- ✓ 地域金融機関向け利用型勘定系サービス「OptBAE(オプトベイ)」が11金融機関にて安定稼働中。(1金融機関にて移行準備中)
- ✓ 2023年5月より「BankVision on Azure」で3行目の稼働を開始。
- ✓ リモートワーク関連の他社クラウドサービス売上が拡大。

(サービス型(事業創出型)アウトソーシング)

- ✓ EC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタルトリエ)」は順次本番稼働を開始。引き合いは強く、さらなる新規ユーザー獲得を目指す。
- ✓ デジタルコードビジネスが引き続き堅調に推移。

続きまして、アウトソーシングビジネスの状況についてご説明します。
資料の3ページをご覧ください。

第1四半期のアウトソーシング売上収益は、「企業DX型」、「サービス型(事業創出型)」が増収となりました。

「運用受託型」は、昨年度において、信用金庫のお客様が、従来ご利用いただいていた運用サービスから、利用型勘定系サービスの「OptBAE(オプトベイ)」へと順次移行した影響などにより、減収となっております。

「企業DX型」は、「OptBAE」や「BankVision on Azure」の稼働開始や、リモートワーク関連を中心とした他社クラウドサービス売上の増加に加え、エネルギー管理ビジネスなども底堅く推移しております。現在、他社クラウドサービスの提供から、自社サービスを組み合わせたマネージドサービスへとつなげる取り組みを強化しており、さらなる売上拡大と収益性の向上に取り組んでまいります。

「サービス型(事業創出型)」は、EC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタルトリエ)」において、お客様の本番稼働が順次スタートしており、サービスの利用が着実に拡大しております。引き合いも強いことから、アパレルメーカーなどを中心に、セールス活動を積極的に展開してまいります。
また、デジタルコードの利用は引き続き順調に拡大しており、非化石証書関連ビジネスも増加しております。

2024年3月期 通期業績予想

- ✓ 期初公表予想値から変更なし
- ✓ 足元の受注環境や業績の進捗状況を見ながら、適宜見直し予定

(単位:億円)

	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想	前期比	
売上収益	3,399	3,500	+101	(+3.0%)
営業利益	297	325	+28	(+9.5%)
(営業利益率)	(8.7%)	(9.3%)	(+0.6pt)	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	202	220	+18	(+8.9%)
調整後営業利益*	294	320	+26	(+8.9%)
(調整後営業利益率)	(8.6%)	(9.1%)	(+0.5pt)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

続きまして、2024年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。
資料の4ページをご覧ください。

通期予想は、期初公表予想値から変更はございません。

お客様のデジタルトランスフォーメーションに対する投資意欲は引き続き旺盛であり、
足元の受注残高も堅調に積み上がっております。
第2四半期以降も好調な需要環境は継続すると見込んでおりますが、
現時点においては、先行き不透明な状況であることから、
売上収益3,500億円、営業利益325億円、当期利益220億円の見通しを据え置きとします。
なお、調整後営業利益では320億円の見通しとしております。

通期予想につきましては、足元の受注環境や業績の進捗状況を見ながら、適宜見直しまいります。

ご説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。



本資料に記載の会社名、商品名および商標は、各社の商標または登録商標です。

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があります。当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。